

大宮中学校国語科 《第2学年》年間指導計画

国語科 教科目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

第2学年

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

第2学年年間指導計画（評価規準）

★ 知は、知識・技能 思は、思考力、判断力、表現力 態は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名と配当時間	単元目標	指導内容	評価規準
4	授業開き (2時間)	・国語の授業への見通しをもつ	・図書館オリエンテーション ・国語科ガイダンス	態 国語の授業や読書活動について見通しをもとうとしている。
		・詩の描写に注目して読むことができる。	見えないだけ	知 詩の中に出てくる好きな言葉や表現を、理由と共にまとめている。
5	広がる学びへ (15～17時間)	・描写に注目して小説を読み深めることができる。	アイスプラネット	知 登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して、作品を読んでいる。 思 「ぐうちゃん」の言動から特徴を捉え、他の登場人物との関係を人物相関図にまとめている。 態 積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
		・効果的な「聞き方」について理解を深めることができる。	[聞く]意見を聞き、整理して検討する	知 提案された意見とそれを裏付けるための根拠を区別して捉えている。 思 ・提案内容を理解し、その要点を的確にメモしている。 ・意見と根拠の結び付きに注意して聞いている。 態 進んで論理の展開などに注意して聞き、今までの学習を生かして疑問点や確認したい点を考えようとしている。
		・古典に親しむことができる。	枕草子	知 現代語訳や語注を手掛かりに「枕草子」を読み、作者のものの見方や考え方を捉えている。 思 ・作者の考えと自分の考えとを比較し、感じたことをまとめている。 ・生活を振り返り、自分ならではの季節感を表すものを見つけている。 態 進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。
		・情報の取り扱いについて理解を深めることができる。	情報整理のレッスン 思考の視覚化	知 問題1～3に取り組み、情報どうしの関係を図で表している。 態 学習課題に沿って、積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使おうとしている。
			情報を整理して伝えよう職業ガイドを作る	知 集めた情報を表や図にまとめ、整理している。
				思 調べてみたい職業を決め、知りたいことに適した方法を考え、情報を収集している。また、収集した情報を分類・整理し、自分の目的に合うものを取捨選択している。
				態 粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。

6	多様な視点から (12~14時間)	・漢字への理解を深めることができる。	漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう1	知 態	熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
		・描写に注目して説明文を読み深めることができる。	クマゼミ増加の原因を探る	知 思 態	文章が六つの部分でできていることを理解し、線や矢印を用いてそれらの関係を整理している。 ・筆者の主張を捉え、それと仮説1~3との関係を理解している。 ・文章中の図表やグラフが何のために示されているのかを、対応する文章を基に考えている。 積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。
		・「具体」「抽象」について理解を深めることができる。	思考のレッスン1 具体と抽象	知 態	問題1,2に取り組み、複数の情報をまとめて抽象化したり、言葉の意味を具体例を挙げて説明したりしている。 学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。
		・効果的なプレゼンテーションについて考えを深めることができる。	・魅力的な提案をしよう ・資料を示してプレゼンテーションをする	知 思 態	相手が自ら動きたいと思えるような言葉や表現を用いてプレゼンテーションをしている。 ・アピールしたい点が効果的に伝わるように話の構成を工夫している。 ・プレゼンテーションソフトやフリップなどを用いて、提案内容が視覚的にもわかりやすくなるよう工夫している。
		・漢字への理解を深めることができる。	漢字に親しもう2	知 態	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
		・文法への理解を深めることができる。	文法への扉1 単語をどう分ける？	知 態	自立語にどんな品詞があるかを知り、それぞれが文の中で果たす役割について理解を深めている。 今までの学習を生かして、積極的に自立語について理解を深めようとしている。
	情報社会を生きる (3時間)	・メディアの見方について理解を深めることができる。	メディアの特徴を生かして情報を集めよう デジタル市民として生きる	知 思 態	情報メディアの特徴を、表や図などにまとめている。 ・適切な情報を得るためには、メディアの特性を捉え、発信者や配信日時、その文章が書かれた目的などを確認することが重要であると気づいている。 ・同一の話題について書かれた複数の情報メディアを比較し、それぞれ特徴について考えている。 ・目的や状況に応じて、どのようなメディアで情報を集めたらよいか、考えている。 粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。
	言葉と向き合う (9~10時間)	・短歌に親しむことができる。	短歌に親しむ 短歌を味わう 短歌の創作教室	知 思 態	情景などを表す語句に着目して作品を読み深めている。また、情景や心情が生き生きと伝わる言葉を選んで短歌を創作している。 ・複数の短歌を比較し、言葉の選び方や順序にどのような特徴や効果があるかを考えている。 ・好きな一首を選び自分の知識や経験と結び付けて感想を書いている。 ・自分の思いが伝わるように、学習した短歌の形式や表現の工夫を参考にして短歌を作っている。 進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。
		・描写に注目して随筆を読み深めることができる。	言葉の力	知 思 態	言葉に対する筆者の考え方を捉え、本や文章には、筆者の考え方が書かれていることや、それに触れることで自分の考えを広げたり深めたりできることを理解している。 言葉に対する筆者の考え方について自分の考えをもち話し合っている。 進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
		・言葉について理解を深めることができる。	言葉1 類義語・対義語・多義語	知 態	類義語・対義語・多義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。 今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解しようとしている。
			語彙を豊かに 抽象的な概念を表	知	抽象的な概念を表す言葉について理解し、類義語の微妙な違いを考えることを通して語感を磨いている。

			す言葉	態	今までの学習を生かして、積極的に抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨こうとしている。
	読書生活を豊かに (2時間)	・読書の楽しみについて理解を深めることができる。	読書を楽しむ	態	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。
		・表現の効果について理解を深めることができる。	翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま 読書コラム 「わからない」は人生の宝物 読書案内 本の世界を広げよう	態	進んで表現の効果について考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。
9	人間のきずな (14~15時間)	・描写に注目して小説を読み深めることができる。	ヒューマノイド	知	登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、それらが作品に与える印象を述べている。
				思	登場人物の言動から人柄や心情を読み取り、それらが話の展開や作品の印象にどう関わるかを捉えている。
				態	粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。
		・描写に注目して随筆を読み深めることができる。	字のない葉書	知	表現に着目して人柄や心情を読み取り、それを生かして他の随筆を読んでいる。
	思			前半部分と後半部分の人柄や心情の描かれ方を比較し、表現の効果について考えている。	
	態			進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	
		・効果的な「質問」について理解を深めることができる。	聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す	知	どのように質問をすると、相手がさらに話したくなるかを考えている。
	思			話の要点や全体像を考えながら聞き、話を広げたり深めたりする質問をしている。	
	態			粘り強く論理の展開に注意して聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出す質問をしようとしている。	
		・効果的な文章表現について理解を深めることができる。	表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く	知	何かをお願いする文面などにおいて、どのような言葉を選ぶと、相手に引き受けてもらえるかを考えている。
	思			自分の思いや考えが伝わるように、具体例を加えたり、表現の工夫をしたりして通信文を書いている。	
	態			積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。	
	知			手紙を推敲し、適切な敬語に書き改めている。	
	思			読み手の立場に立って手紙を推敲し、気持ちがより伝わるような表現に書き改めている。	
	態			粘り強く文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。	
	・文法について理解を深めることができる。	言葉2 敬語	知	敬語を使う生活場面を想定し、敬語の働きについて理解を深めている。	
態			今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。		
	・漢字への理解を深めることができる。	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3	知	・文脈や言葉の意味に注意して、漢字を読んだり、書いたりしている。 ・同音異義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。	
態			学習課題に沿って、積極的に同音異義語を理解し、漢字を読んだり書いたりしようとしている。		
10	論理を捉えて (15~17時間)	・描写に注目して説明的文章を読み深めることができる。	モアイは語る ——地球の未来	知	筆者の意見(主張)がどのような根拠によって支えられているかを理解し、その根拠が適切かを吟味している。
				思	・文章全体の構成を捉え、意見と根拠の結び付きや論の進め方を吟味している。 ・自分の知識や体験と重ね、筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめている。
		・意見と根拠の関係について理解を深めることができる。	思考のレッスン2 根拠の吟味	態	粘り強く論理の展開について考え、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。
	知			問題1, 2に取り組み、根拠を吟味している。	
				態	今までの学習を生かして、積極的に意見と根拠の関係について

					て理解しようとしている。
		・意見文の書き方について理解を深めることができる。	適切な根拠を選んで書こう 意見文を書く	知 思 態	自分の意見を支えるための適切な根拠を選んでいる。 根拠となる事実を具体的に示したり、想定される反論に対する意見を示したりしている。 粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。
		・漢字について理解を深めることができる。	漢字に親しもう4	知 態	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
		・効果的な話し合いについて理解を深めることができる。	[話し合い(進行)] 話し合いの流れを整理しよう	知 思 態	賛成・反対それぞれの立場の人が、根拠となる①～⑧の事実から、どんな意見を述べるのかを考えている。 同じ情報を基にししたり、同じ観点で考えたりしても、立場によって異なる意見になり得ることに気づいている。 進んで意見と根拠の関係について理解し、今までの学習を生かして異なる立場の人の意見を想定しようとしている。
			立場を尊重して話し合おう 討論で視野を広げる	知 思 態	説得力のある根拠と共に、意見をまとめている。 ・地域や社会で話題になっていることの中からテーマを決め、異なる立場の人の考えを予想しながら考えをまとめている。 ・互いの意見の共通点や相違点、話し合いの論点を踏まえて話している。 進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。
11		・効果的な音読について理解を深めることができる。	音読を楽しもう 月夜の浜辺	知 態	詩の中の語句に着目し、詩全体の世界を豊かに想像している。 進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を朗読しようとしている。
	いにしへの心を訪ねる (10～11時間)	・古典について理解を深めることができる。	源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語	知 態	・漢語を交えた独特の調子とリズムを捉えて朗読している。 ・冒頭部分の現代語訳を読んで、「無常観」を感じ取っている。 進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、学習課題に沿って朗読しようとしている。
			扇の的 —— 「平家物語」から	知 思 態	・古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。 ・与一や義経の言動、扇の的を射落とした後の人々の反応に着目し、古人のものの見方や考え方を捉えている。 「扇の的」での与一の言動や「弓流し」の場面での義経の言動の意味について考え、作品を読み深めている。 進んで登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
			仁和寺にある法師 —— 「徒然草」から	知 思 態	・古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。 ・現代語訳や語注などを手掛かりにして、法師の言動やそれに対する作者のものの見方、考え方を理解している。 ・法師と同じような経験がないかを踏まえて、考えたことを話し合っている。 ・文章の構成を工夫して、古典の登場人物について論じる文章を書いている。 積極的に考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。
			漢詩の風景	知 思 態	漢文特有の言葉遣いや調子を意識して朗読している。 好きな漢詩を選び、気に入った表現や句を引用しながら、構成や表現の効果を伝え合っている。 進んで作品の特徴を生かして朗読し、学習課題に沿って好きな漢詩を選び、その理由を述べようとしている。
12	価値を語る (9～10時間)	・評論文について理解を深めることができる。	君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しさ	知 思 態	・筆者が、どのような例示(具体)を基に、「最後の晩餐」を「かっこいい。」(抽象)と述べているのかを理解している。 ・二つの文章を比較し、それぞれの特徴や共通点・相違点を表に整理している。 ・二つの文章に書かれていることを比較したり、関係づけたりしながら、それぞれの文章が書かれた目的や意図を考えている。 ・文章の構成や表現の特徴について、二つの文章を比較して発見したことを発表している。 粘り強く観点を明確にして文章を比較し、今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。

		・漢字への理解を深めることができる。	漢字に親しもう5	知	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。
				態	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
		・文法への理解を深めることができる。	文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。	知	用言の活用形と活用の種類について、語例を基に理解している。
				態	今までの学習を生かして、積極的に単語の活用について理解しようとしている。
	読書に親しむ (1時間)	・読書への理解を深めることができる。	究の現場ようこそ 日本に野生のソウヤサイ イがいた頃 クモの糸でバイオリン 読書案内 本の世界を広げよう	態	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。
	百人一首 (4時間)	・百人一首に取り組むことができる。	百人一首	知	これまでの学習を活かし、百人一首に取り組んでいる。
1	表現を見つめる (23~25時間)	・描写に注目して小説を読み深めることができる。	走れメロス [書<] 作品の魅力をまとめ、語り合おう	知	作品中の漢語を和語に置き換えると、印象がどのように変わるかを考えている。
				思	・「メロス」や「王」の言動に着目して、人物の考え方や心情の変化を読み取っている。 ・「メロス」の行動や考え方で共感できたところ・できなかったところを、自分の知識や経験と結び付けて考えている。
				態	粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。
		・漢字への理解を深めることができる。	漢字に親しもう6	知	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。
				態	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
		・文法への理解を深めることができる。	文法への扉3 一字違いで大違い	知	助詞・助動詞の働きや種類について理解し文や文章で使われている助詞や助動詞の意味用法を判別している。
			態	今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。	
2	・効果的な文章を描写を工夫して書くことができる。	描写を工夫して書く 心の動きが伝わるように物語を書く	知	これまでに学習した作品の構成や展開を振り返り、どんな点を自分の文章に生かしたいかを考えている。	
			思	・起承転結の流れで構成を考え、場面の展開が明確になるように、それぞれの場面での出来事や心情を整理している。 ・書いた物語を友達と読み合い、よい点や改善点を伝え合っている。	
			態	粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。	
	・言葉についての理解を深めることができる。	言葉3 話し言葉と書き言葉	知	話し言葉と書き言葉について、それぞれの特徴を理解し、表現する際にどのような注意が必要かを考えている。	
			態	今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。	
	・漢字への理解を深めることができる	漢字3 送り仮名	知	送り仮名に注意して、漢字を読んだり書いたりしている。	
			態	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり、書いたりしようとしている。	
・1年間の学びを振り返り、理解を深めることができる。	国語の学びを振り返ろう 「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る	知	・結論を見出しに、詳細を本文に書くなど、構成を工夫して記事を書いている。 ・テーマを話し合う際に出た意見を、表などを用いてまとめている。		
		思	・テーマと内容について、お互いの意見の共通点・相違点を明らかにしながら話し合い、結論を導いている。 ・伝えたいことの優先順位を考えて、記事の割り付けを工夫している。 ・読み手の立場に立って推敲し、表現を工夫している。		
		態	粘り強く文章の構成や展開を工夫し、今までの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。		
	・描写に注目して詩を	鍵	知	「鍵」などの抽象的な概念を表す言葉に着目し、詩の中での意味を考えている。	

		読み深めることができる。		思 態	自分の知識や経験と結び付けて、作者のものの見方について考えている 進んで詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、作者のものの見方について話し合おうとしている。
3	振り返り (3時間)	• これまでの学習を振り返り、理解を深めることができる。	学習を振り返ろう	知 態	• 相手の心が動くように、卒業生に贈る言葉を選び、その理由を考えている。 • 敬語の働きを理解し、電子メールの下書きを推敲している。 • 根拠を明確にして、卒業生に贈る言葉について書いている。
1 学 期	書写 行書の書き方を学ぼう (3~4時間)	行書について理解を深めることができる。	点画の省略	知 態	• 点画が省略される理由と、主な省略のしかたを理解している。 楷書と比較し、点画が省略されている部分を主体的に見つけようとしている。
			筆順の変化	知 態	筆順が変化する理由を理解している。 楷書と比較し、筆順が変化している部分を主体的に見つけようとしている。
			行書の練習2	知	点画の方向や形の変化、点画の連続・省略、筆順の変化を理解し、それらを含む部分の書き方を覚えている。
				態	• 行書の部分の書き方を覚え、同じ部分をもつ他の漢字に生かそうとしている。
				知	行書と仮名を調和させるための筆使いのポイントを理解している。
				態	楷書に調和する仮名と比較し、行書に調和する仮名の特徴を主体的に見つけようとしている。
2 学 期	行書に仮名を交えて書こう (3~4時間) • 楷書が行書を選択して書こう (16時間)	• 行書の効果について理解を深めている。	行書と仮名の調和	知 態	行書に調和する仮名に表れる点画の特徴を理解している。 行書に調和する仮名の特徴を主体的に見つけようとしている。
			行書に調和する仮名	知 態	行書とそれに調和する仮名の筆使いや点画の特徴を理解している。 行書の字形の整え方を理解している。
			行書と仮名のまとめ	知	• 行書とそれに調和する仮名について、これまでに学習したことを主体的に生かして書こうとしている。
				態	楷書と行書の特徴を理解し、それぞれと仮名を調和させるための筆遣いのポイントを理解している。
			書き初め	知	楷書と行書の特徴と、それぞれに調和する仮名について、これまでに学習したことを主体的に生かして書き初め作品を書こうとしている。
				態	楷書と行書の特徴と、それぞれに調和する仮名について、これまでに学習したことを主体的に生かして書き初め作品を書こうとしている。
3 学 期	コラム]季節のしおり (1時間)	• これまで学習した事を振り返り、生かすことができる。	• ふりかえり	知	これまでに学習したこと(行書とそれに調和する仮名の筆使いと点画の特徴/行書と仮名の調和/文字の大きさと配列)を理解している。
				思	これまでに学習したことを生かして、楷書とそれに調和する仮名、行書とそれに調和する仮名で季節にまつわる詩歌や言葉を書いている。
				態	これまでに学習したことを生かして季節の言葉を書くことに、興味をもって取り組んでいる。

評価基準・知：定期考査、漢字テスト、作品、ワークシート等

思：定期考査、発表、聞き取りテスト、作品、作文、小テスト等

意：授業中の取り組み、定期考査、ノート、ワーク、提出物等